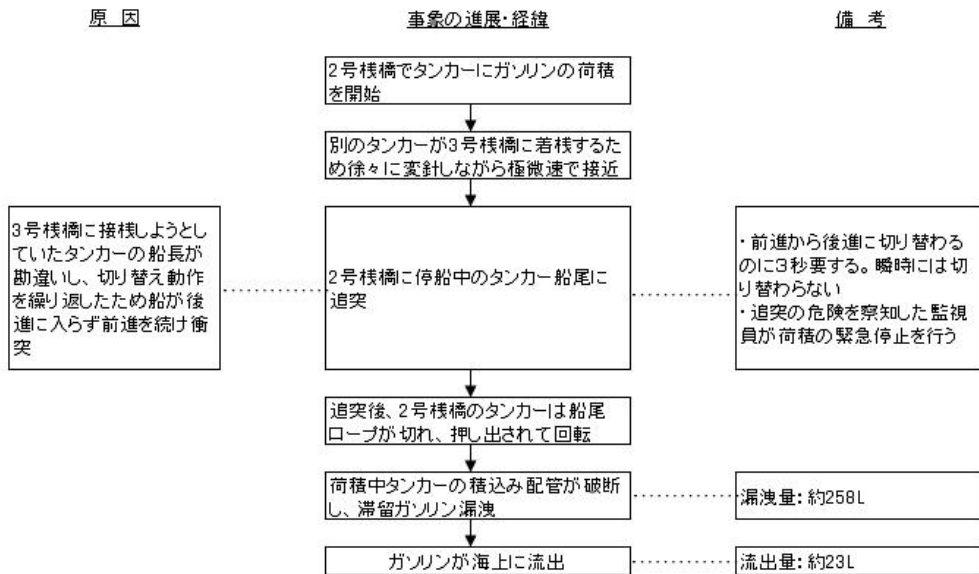




着棧タンカーが荷積み中のタンカーに接触しガソリン漏洩

事象進展図

00112	着棧タンカーが荷積み中のタンカーに接触しガソリン漏洩
発災年月日	1994年10月3日
装置	荷積み中タンカー
運転状況	荷積み中タンカーのガソリン積込み作業中
特徴	タンカーに追突され、荷積み中タンカーの積込み配管が破断し、滞留ガソリン漏洩



再発防止策
<ul style="list-style-type: none"> ・船主、船長、乗組員に対する着離棧時の機器操作、操船、異常発生時の対策について教育、点検の実施。 ・従業員に対して異常発生時の消防関係部署への迅速通報の再教育、訓練の実施。
安全専門家コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・一般に着棧時には錨泊地で主機関の前後進テスト、及び操舵テストを行い、異常を確認する。直航着棧の場合には、錨白地付近で減速して前後進テストを行い、平行着棧に努めるようになっている。海運会社の安全指導も含めて確認指導の必要を感じる。 ・船長のようなベテランでも思いこみ、勘違いをして機器操作を誤ったりする。

引き金事象発生の原因
出荷作業中の船に他の接棧中の船が衝突

事故の引き金事象
出荷中の配管(ガソリン)破損

事故に関連した直接・間接要因
《人的要因》 ・誤操作・不作為など ・うっかり・ぼんやり・疲労・ストレスなど ・能力・経験不足



着棧タンカーが荷積み中のタンカーに接触しガソリン漏洩

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

・川崎市消防局予防部保安課、製油所危険物移送取扱所ガソリン漏洩事故、川崎市コンビナート安全対策委員会資料

▶ 添付資料

▶ キーワード(>同義語)

- 🔑 ローディングアーム
- 🔑 海上入出荷系
- 🔑 配管 > パイプ
- 🔑 貯蔵入出荷設備 > オフサイト設備

▶ 関連情報